

下内野地区の生活楽しみ

一関・西田さん(NPO)が着任



得意のチャランゴの演奏で住民を沸かせる西田彩音さん

東京都八王子市出身の西田彩音さん(23)は、NPO法人地球緑化センター(東京都)の緑のふさと協力隊員として一関市大東町下内野地区に着任し、1年間、農村生活を送る。12日は地区民による歓迎会が開かれ、西田さんは「地域づくり

地域の話題・声

今回派遣を希望。空き家を借りて暮らし、農業や砂鉄川での石磨きなど下内野地区の特色ある行事に参加する。地元の会館で開かれた歓迎会には住民約30人が参加。全員がユーモアを交えて自己紹介し、手作りのワサビ餅やすいとんが振る舞われた。和やかな雰囲気の中、西田さんは得意とする南米の楽器「チャランゴ」の演奏を披露した。

下内野自治会にとつて協力隊員の受け入れは初めて。勝部欣一会長(69)は「農業、林業、畜産、郷土食作りなどいろんな体験をして、下内野で新たな生き方を発見してほしい」と地域を挙げたサポートを誓った。

下内野で多くの発見を

住民ら、西田さん(協力隊)歓迎

大東

一関市大東町大原の下内野地区で12日、NPO法人地球緑化センターの東京八王子市出身の第22期緑のふさと協力隊として同市に派遣された西田彩音さん(23)の歓迎会が行われた。住民らは1年間居住する西田さんの地区での活躍に期待を寄せ、親睦を深めた。



市農村地域活性化モデル地域の指定を受け、実践活動などに取り組む地元の下内野自治会(勝部欣一会長)が住民一同で西田さんを温かく迎えようと企画。同町大原字堰ノ上の下内野ふれあい会館で行われ、約30人が参加した。勝部会長は「農業や林業、畜産、郷土食作りも体験できる。住民も協力していくので有意義な1年にしてほしい。下内野下内野地区の住民と交流した西田さん(左)

の生活の中で新しい生き方を発見してもらえれば」と呼び掛けた。参加住民がそれぞれ自己紹介を兼ねてあいさつし、「お茶飲みに来てね」「何でも相談して」などと歓迎。地元食材を生かしたじゅうねもち、わさびもち、すいとんといった地域の味でもてなし、にぎやかに歓談した。西田さんは「この地域に溶け込めるよう頑張っていきたい」と意気込みを語ったほか、大学の部活動で行っていたという南米の弦楽器チャランゴで「コンドルは飛んで行く」などを演奏。住民から大きな拍手が上がっていた。

4月は地区内でのあいさつ回りのほか、農家の水稻の育苗、種まき体験、老人クラブお花見会への参加などを予定している。

(15)

○

【一関・両磐地方1】

(第3郵便物認可)

岩手日報

一関平泉

地域の情報をお寄せください

岩手日日 本社編集部

0191(26)4204

FAX 0191(26)5118

千厩支局 0191(53)2233

FAX 0191(53)2234

平泉支局 0191(46)5104(FAX兼用)

「一緒に農業やろう!」



遠藤清行さん

JA平泉青年部中里支部長